



10月も終わりを迎え、秋の深まりを感じます。園庭には色とりどりの落ち葉が舞い、登園してくる子ども達の手には木の実や落ち葉が握られ、季節の移り変わりを身体で感じているようです。ただこの時期、日によっても時間帯によっても気温の変化が大きくなっています。夏の疲れも出やすいころです。体調を整え、毎日元気いっぱい遊ぶようにしましょう。

「秋の遠足」の活動を通して育つもの

本園では、秋の遠足で公園などに行き遊具や自然を感じて遊ぶだけではなく、異年齢のチームでオリエンテーリングをしています。毎年、笑顔あり、ちょっとしたハプニングありますが、この活動を通してたくさんの学びがあり、子ども達は大きく成長していると思っています。その一連の活動をご紹介します。

☆園内オリエンテーリング

運動会のチームで、園内で4つのミッション（玉入れ・一本橋渡り・宝探し・星釣り）をクリアし、最後に園長からご褒美シールをもらうものです。始まる前にチームで集まり、職員から出した指示は「チームみんなで動くこと、ケガをしたり困ったことがあったら近くの先生に言うこと」の2つだけ。後は子ども達が自分達で考え、動くのを見守りました。スタートするとさっそく、迷子になる子、おもしろそうな遊びにチームを離れてしまう子・・・が続出。チームのリーダーである年長児は「こっちから行くよ」「〇ちゃん、おいで」と、チームをまとめるのに必死です。昨年の経験から「手をつなぐと離れ離れにならない」ことを覚えていて、13人全員で手をつなぐチーム、4～5人で手をつなぐチームといろいろでしたが、この手をつなぐ方法で、なんとか最後までたどり着くことができたようです。「一の谷公園はとても広いから大変だわ・・・」と、ある年長児がつぶやいていました。リーダーという立場で物事を考えるようになってきているんだなと頼もしく感じました。

☆一の谷公園遠足

18日（水）は天気にも恵まれ、遠足に行くことができました。一の谷公園に着き、公共の場で遊ぶことへの注意をした後は、さっそくオリエンテーリング本番です。チームごとにカードと地図（ここが前回と違います）をもらって集合した後、職員から出した指示は、前回の2つに加え、地図に書いてある色のコーンに行くことと、「行かない ×」がしてある所へは行かない、という4つ。後は前回同様、子ども達が動くのを見守りました。スタートした3チームは、今日は全員一緒に手をつないでいます。やはり場が異なり広いので、離れてはいけないという気持ちが強かったのでしょうか。「秋のクイズ」「カードのお題の歌をみんなで歌う」「展望台に向かってヤッホーと叫ぶ」「宝探し」の4つのミッションに向かっていきました。思ったよりスムーズにいくチーム、離れ離れになるチーム、シールをもらい忘れる子・・・。色々な姿が見られましたが、チームで力を合わせ、声を掛け合い、全員がゴールすることができました。みんなご褒美シールをもらい笑顔いっぱいでした。

その後、クラスでがけ上りや小道の探検、展望台のぼりなどを楽しんだ後、美味しいお弁当を食べて幼稚園バスで帰りました。

子ども達が帰った後の職員の反省で、「オリエンテーリングは楽しそうだったけれど、1チームが11人で多かったので互いの声が届きにくく、年長児が力を発揮できただろうか」「年長児がリーダーシップを発揮するためにも、1チームの人数を少なくしてはどうか」「そうすると1チーム内に年長児は1人か2人になってしまうが、声は通りやすいし、自分事として考えてくれるのではないか」と話し合いました。そして、年長児が本当に「やり切った！」という達成感を味わえるように、再度5～6人のチームを作り、『新園内オリエンテーリング』を行うことにしました。

☆新園内オリエンテーリング(10月25日)

新しいチームを組んで3回目のオリエンテーリング。もう、どんなことをするのかわかってきているので「今日はどんなミッションかな？」と楽しみにしていました。1チーム5～6人なので、リーダーとなる年長児は1チームに1人か2人です。これまでよりもミッションの数が増え、園庭と園舎内にポイントを作ったので、一緒に動く範囲もとても広くなりました。「あっちから行こうか」「ぼく達はお部屋から行ってみよう」と、これまでよりもチームで声を掛け合う姿が多く見られました。5つのミッションをクリアし、最後に園長からご褒美カード(これはおやつに交換します)をもらい、時間差はありましたがどのチームもゴールしました。

終わってからの振り返りで子ども達から話を聞くと、年長児が「クイズや行くところをチームで話し合った」「みんなで手がつなげなくて困ったけど、〇ちゃんって声をかけたらできた」など、年長児として『今回はこんな風にしてみよう』『困ることもあったけど、考えたら上手くいった』など、願いをもって取り組み、楽しかったり、上手くいったり、時には困ったりを経験しながら最後までやり切れたようです。中には、楽しくてどんどん進んでいく年中・年少児を一步後ろから「はぁ・・・」というため息が聞こえそうな表情で歩く年長児もいました。きっと、チームとして、リーダーとしての難しさを身体全体で感じたのでしょう。でも、投げだすことなく、あきらめることなく、年下の友達と一緒にミッションをクリアしてゴールし、年長児は達成感を味わうことができたと思います。

年中児は、年長児の話を聞きながらも「今度はこっちじゃない？」と自分の思いを出したり、年少児が離れないように一生懸命手をつないだりする姿が見られました。リーダーの年長児の姿に憧れ、自分の役割も果たし、笑顔いっぱい楽しんだ年中児は、「次は自分達がリーダー」と思っていることでしょう。

年少児は、繰り返し取り組む中でチームで動く楽しさ、ミッションをクリアしてシールやご褒美をもらう嬉しさを感じていました。今回のミッションの中には『竹ぼっくりにのる』というものもあり年少児には少し難しいかなとも思いましたが、年長・年中児が手を取りながら教えたり応援したりして、どの子も竹ぼっくりに乗ることができました。年長・年中児の優しさを感じたことでしょう。

各クラスではそれぞれ楽しくのびのびと活動していますが、今回のように異年齢活動で自分達で行動する活動は、子ども達にとって楽しさもあり、難しさもあり、だったと思います。でも、繰り返しの中で、自分なりに考え最後までやり切ることができ、大きな学びと自信になったと思います。



初回園内オリエンテーリング「チームから離れないでね」「手をつなごう」



遠足オリエンテーリング「幼稚園より広いし、手がつなぎにくいなあ」



三回目オリエンテーリング「こっちへ行こう」「こうやって乗るんだよ」